

北薩森林管理署交渉（全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会）

議事要旨

1 日時 令和元年7月23日（火） 17:30 ～ 18:30

2 場所 北薩森林管理署 会議室

3 出席者

北薩森林管理署	古市真二郎 署長
同	築川 伸一 次長
同	深田 孝治 総括事務管理官
全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会	戸島 章治 委員長
同	高森 公章 副委員長
同	柏木 和美 執行委員
同	田畑 駿也 執行委員

4 交渉事項

- (1) 労働安全の強化及び職員の健康維持について
- (2) H31年度の事業量増加に対する具体的対策について
- (3) 要員の確保及び業務負担に係る課題について
- (4) 各種システムの円滑な運用について

5 議事概要

(1) 労働安全の強化及び職員の健康維持について

組合）昨年度、当署において職員災害が相次いで発生、また、請負事業箇所においても災害が発生しているが、危機感を持った安全指導が必要である。さらには、職員の心と身体の健康につい

て、適切に把握するとともに職場環境の改善、ストレス要因の除去などメンタルヘルス対策を徹底するようお願いする。

当局) 職員災害は、いずれも経験の浅い職員の災害であったことから、基本動作を守り、刃物の正しい使い方の経験を積むよう指導もしているところである。今後も、各種通達等に基づき、署・現場が一体となり取り組むとともに高い意識と目配り気配りを行いながら取り組んで参りたい。また、請負事業者に対しては、危険予知の徹底、各種施設等の点検等をしっかりと指示したところである。今後も発注者の立場から、契約時及び事業着手時の指導、定期的な安全パトロール、監督職員の立場からの指導など、署・現場一体となって、適切な安全指導を行って参りたい。

職員の健康状況については、健康診断時の問診票及び検診結果等による状況把握や「農林水産省職員の心の健康づくりのための指針」等に基づき、適切に対処して参りたい。

(2) H31 年度の事業量増加に対する具体的対策について

組合) 今年度の業務計画では、債務の返済と合わせ収入の確保は重要な課題となっているが、主要事業量を始め、取り巻く状況は非常に厳しいものとする現況の認識について伺いたい。また、今年度の事業量に対しての事業者の数・作業能力・事業担当者の負担等について北薩署の考えを伺いたい。

当局) 事業量が増加傾向にあることは、貴組合と認識は一緒である。

今年度の事業については、各事業の発注時期を公表し、計画的な事業発注・契約等に努めているところである。現段階では、各事業とも概ね計画どおりに進捗していると考えている。今後も、関係機関等としっかりと調整し対応して参りたい。

(3) 要員の確保及び業務負担に係る課題について

組合) 事業量が増加傾向にある中、空席ポストの増加などにより、一般職員や2級職職員が上級ポストの業務を対応するなど職員への負担が増加している。業務の押しつけや放置とならないよう当局として最大限の対応をするよう求める。また、若手職員の上級業務対応については、適正に人事評価時に評価し、能力のある者の早期任用を図るよう求める。

当局) 当署の空席ポストの業務は、一般職員や再任用職員等で補うなど、職員の協力を得ながら業務を進めてきているところであり、特に若手職員には責任ある業務を担っていただいております。感謝申し上げます。現在、ポストに見合った要員を配置するように上局に対して機会ある毎に強く要望しており、引き続き上局へ上申して参りたい。

また、限られた職員で、業務負担を軽減するためには、業務の外部委託化、業務・事務の合理化・効率化が必要と考えるところであり職員の意見も参酌しつつ取り組んで参る考えである。

(4) 各種システムの円滑な運用について

組合) 旅費システムについて、旅費の支払いに遅延が見受けられた。システム操作などの簡素化が必要ではないか。

当局) 旅費については、局段階で精算業務が集中することもあり旅費等の精算に時間を要すること。

また、旅費精算時の入力誤り等で出戻りが多いことが遅延の要因となっているのでチェック等の正確性を高めるよう指導して参りたい。なお、システム上の操作性等については、具体的な要望があれば事務改善として取り組んで参りたい。

(以上)